



おおにしの笑顔

第10号 令和5年1月16日 文責 恩田

- ⓪ もいやりのある正しい子
- ⓫ おきな声であいさつする子
- ⓬ んたい強くかしこい子
- ⓭ っかり体をきたえる子

あけましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。

冬休み中は、ご家族で有意義な時間を過ごされたことと思います。新学期に元気な子供たちに会えてとても嬉しく思っております。今年も子供たちにとってよりよい学校生活となるように、職員一同精一杯尽力して参ります。どうぞよろしく願いいたします。

3学期始業式の話「あなたの心がきれいだから…」

「1年の計は元旦にあり」という言葉があります。その年の計画はその年のはじめ、元旦に立てるべきという意味で、何事も最初に決めておくのが肝心ということです。3学期のはじめに、学年のまとめの学期にふさわしい目標をよく考えて決めましょう。そして、丁寧な字で書いて、毎日その目標を意識して生活しましょう。2学期の終業式で話した、「**こうしようと思う→やってみる→振り返る→やりなおす**」のサイクルで、成長していきましょう。

2学期の終わりにもらった手紙を紹介します。「(前略)…私はこの学校のみんなと先生、みんな大好きです。私がこの学校を好きになれたのは校長先生のおかげです。本当にかんしゃしています。最高の学校生活をありがとうございます。人権のお話を聞いて、私は友達を大切にしたいと思いました。…」

こういう手紙を読むと、校長先生のとて好きな次のような言葉を思い出します。

「あなたの心がきれいだからなんでもきれいに見えるんだなあ」

きれいなもの、たとえば、花を見て、きれいだなと思えるのは、その人の心がきれいだからです。見る人の心が汚れてしまっていると、きれいと思えない、または、きれいと気づくことができないのです。友達の良いところや、ものごとのよいところをすぐに見つけられて、いいと思える子はその子の心がとてもきれいだからです。この手紙を書いた子どもとても心がきれいなんだと思います。

これ、『きれい』のところ、『きれい』以外の言葉でも、あてはまりますよ。

「あなたの心が(素晴らしい)から何でも(素晴らしく)見えるんだなあ」

「あなたの心が(優しい)からなんでも(優しく)見えるんだなあ」

「あなたの心が(素敵)だからなんでも(素敵に)見えるんだなあ」

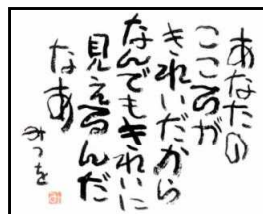
また逆に、良くない言葉でもあてはまります。

「あなたの心が(意地悪)だから、なんでも(意地悪く)見えるんだなあ」

「あなたの心が(つまらない)からなんでも(つまらなく)見えるんだなあ」

「あなたの心が(面倒くさい)から、なんでも(面倒くさく)見えるんだなあ」

人は、「心という眼鏡」を通してものを見ます。心の眼鏡をきれい磨けば、まわりにあるきれいなもの、美しいもの、素晴らしいもの、良いもの、良いことにたくさん気づくことができます。良いことに気づくことはみんなの成長のためにとても大切なことです。心をきれいに磨いて、きれいなもの、良いもの、良いことにたくさん気づいて、成長していきましょう。そして、よい学年のまとめとなる3学期にしましょう。



3学期の行事について

町全体の感染状況が思わしくなく、まだ警戒が必要な状況です。6年生を送る会や卒業式の参加者等について、町教育委員会や町校長会で協議しています。PTA 役員の方の意見もいただきながら、よく検討して決めていきます。今後も子供たちが元気に登校できるように、ご家族で感染予防に気をつけていただければと思います。

